

第 35 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

第 3 回社会教育委員会議	
開催日時	令和 4 年 10 月 13 日 (木) 午後 3 時～午後 5 時
会 場	クロスパルにいがた 5 階 交流ホール 2
出席者	<p>【社会教育委員】 雲尾 周、小倉 壮平、角野 仁美、木村 いほ子、佐藤 裕紀、清水 隆太郎、司山 園美、白神 道子、平山 智康、山岸 則子 計 10 名 ※敬称略</p> <p>【事務局】 教育次長、地域教育推進課長、中央公民館長、中央図書館長、生涯学習センター所長、所長補佐、生涯学習センター職員 3 名 計 9 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 報告事項 (1) 第 35 期新潟市社会教育委員会議開催日程及び各種大会日程について ○報告資料 1～4 に基づき、事務局が令和 4 年度の社会教育委員会議日程及び、各種研究大会の日程等について説明を行いました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>3 協議事項 (1) 第 35 期社会教育委員会議の建議（活動）テーマについて ○協議資料 1、2 に基づき、事務局が活動のテーマ案について説明しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>(2) 今後の調査研究活動について ○協議資料 3、4 に基づき、事務局が今後の調査研究活動の進め方及び年間スケジュールについて説明しました。 【主な質問・意見等】 ・質問や意見はありませんでした。</p> <p>○O3(1)、(2)の説明を踏まえ、今後の調査研究活動について意見交換を行いました。 【主な質問・意見等】 ○A「子どもと若者の参画を促すネットワーク」グループ ・制約もある中で今後何をしていくかということ話し合い、できるとよいというアイデアがいくつか出てきた。一つが、居場所に加えて学校をどのように活用していくかという視点も大事だという意見があり、その先進地を見に行き、目指す姿を描いていくこと。あとは、それを経て現状、新潟市で今、小中学生、子どもたちを地域で受け入れてくれる受け皿がどれだけあるのかということの調査や、子どもたちの実際の声を聞いていくということ。その後のアクションについては、まだアイデアが練り切れていないので、次回以降に検討を続けていく。</p> <p>○B「共生社会の実現に向けた学びの在り方とネットワーク」グループ ・共生社会はどうしても幅が広いので、テーマとして、障がい者の教育に関してどのくらい活動機関があるのか、また、ジェンダーの問題が出てきた。困難を抱えている人たちの支援というものがどのくらい伝わっているのか、男女共同参画の意味がどのくらい伝わっているのかということがある。</p>

第 35 期新潟市社会教育委員会議 会議概要

<p>内 容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人や両親が外国籍の場合の言葉の問題をどう支援していくか、また、障がいがある子どもたちの卒業後の学びの場や、発達障がいの子どもの親が学べる場があるのかということ。障がいの有無でカテゴライズされることで支援が受けられるという側面もあるが、逆にそれが人との隔たりになってしまいうということがあるのではないか。まず、いろいろな人がいるということを知る必要がある。 <p>4 その他</p> <p>○第 4 回の会議について、令和 5 年 1 月 16 日（月）午後 3 時からクロスパルにいがたで開催することを確認しました。</p> <p>5 閉会</p>
<p>傍聴者</p>	<p>0 名</p>
<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 35 期新潟市社会教育委員会議（第 3 回）次第 ・ 報告資料 1 第 35 期会議・各種大会日程 ・ 報告資料 2 第 64 回全国社会教育研究大会広島大会開催要項（日程） ・ 報告資料 3 第 53 回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会開催要項（日程） ・ 報告資料 4 第 22 回新潟県社会教育研究大会三条大会開催要項 ・ 協議資料 1 第 35 期新潟市社会教育委員会議（第 3 回）の実施に向けて ・ 協議資料 2 第 35 期新潟市社会教育委員会議（第 2 回）記録 ・ 協議資料 3 第 35 期新潟市社会教育委員会議調査研究グループ（案） ・ 協議資料 4 第 35 期新潟市社会教育委員会議スケジュール（案）